



第 2 回学校運営協議会



「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」

— 令和 8 年 7 月 8 日(水) 13:45～15:00 —

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 前回の会議録確認（C Sディレクター）
- 4 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 5 熟議
「学校支援と学習支援について」
- 6 連絡

・次回開催日 11月13日（金）13：15 ～ 15：00

令和 8 年度 第 1 回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和 8 年 4 月 17 日（金） 13 時 30 分から 15 時 30 分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 会議室
- 3 出席委員 出野 光雄、新井 恵美子、大柴 智恵、内山 達也、武田 あゆみ、
高林 政三、梅林 正行、市里 歩美
- 4 欠席委員 大石 見無雄、佐藤 聖徳
- 5 オブザーバー 増田 健一（下阿多古ふれあいセンター所長）、前山 美弥子（民生委員）
- 6 学 校 木下 栄二（校長）、横山 和美（教頭）、沖 みどり（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 沖 みどり

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内山会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）令和 8 年度学校運営の基本方針について概要説明
- （2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （3）学校支援について

11 会議記録

司会の横山教頭から、委員総数 10 人のうち 8 人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和 8 年度学校運営の基本方針について概要説明

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和 8 年度学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ いじめの問題については、家庭環境や日常生活とも密接に関係する重要な問題で、学校
のみに任せるのではなく、保護者も主体的に関わって、家庭と学校が連携して取り組む
必要があると思う。（出野委員）
- ・ 保護者の視点から見た課題等を把握するために、PTA との意見交換の場があるといい
と思う。（内山会長）
- 学校参観会後に座談会を催し、協議会委員の参加のもと、保護者が抱える悩みや課題に
ついて意見を聴取する機会の場を検討中である。（木下校長）
- ・ 子育てには、多くの悩みが伴うもので、話すことで気持ちや考えが整理される。大切な
のは、教えることよりも悩みを聞いてあげることだと理解してほしい。（大柴委員）

- ・ 共働き家庭としては、仕事と子育ていずれも重要視している。子供を育てていくためには、働くことも欠かせない。子供にとっても、親の働く姿を見ることは、大切な学びの機会になっていると思う。限られた時間の中で、親たちとどう関わるか、子供自身が考え、選択し、主体的に行動する力を養ってほしいと思っている。(市里委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校支援について

議長の指示により、学校支援コーディネーターである武田委員から、別紙資料に基づき前年度における協働活動についての説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 地域の方の支援を受けるだけでなく、子供たち自身も、手伝いや関わりを通じて、支援する側の活動をしてはどうか。(市里委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和8年7月8日(水)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。

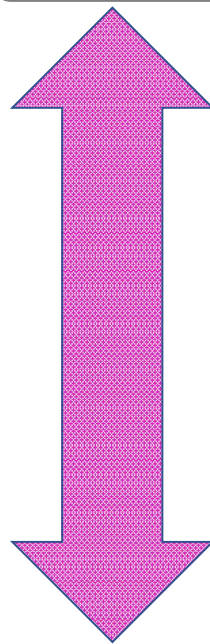
地域とともにつくりたい授業と活動

学習面で

日常の支援で



地域から



下阿多古小から

